

環境パブリックリレーションズ推進事業業務 仕様書

1 目的

ネイチャーポジティブやサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル等の環境や地域のサステナビリティに関するテーマについて、県内の自然や文化、人、企業、活動を題材にコンテンツを制作・発信し、市民生活や企業活動における「新しいあたりまえ※」を創り出す。

※新しいあたりまえ

環境や地域の持続性に関わる主要テーマについて、新しい生活様式や企業活動等についての認知や理解が浸透し、環境意識の高揚が occurring していること。

2 業務名称

環境パブリックリレーションズ推進事業業務

3 委託業務内容

(1) ウェブサイト作成業務

① ウェブサイト制作における留意点

- ・既存のアイデアに囚われない、自由な発想を体現するウェブサイトとすること。
- ・利用者にとってわかりやすく、直感的に扱うことができるデザインとすること。
- ・優良なコンテンツの長期的なアーカイブに耐えうる拡張性の高いものにすること。
- ・ウェブサイトに表示する情報の変更を容易に行うことを可能とすること。
- ・個人情報をはじめとするセキュリティ対策について万全を期したものとすること。
- ・ウェブアクセシビリティの観点から、次の事項に配慮すること。
 - >W3C の規定する Web Content Accessibility Guidelines(WCAG)
 - >JIS X8341-3:『高齢者・障害者等配慮設計指針・情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス・第3部:ウェブコンテンツ』
 - >群馬県ウェブアクセシビリティガイドライン
- ・ウェブページ更新作業の負担を軽減するため、CMS 機能に配慮したものとすること。特別な知識がなくとも更新作業ができるよう配慮したものとすること。
- ・新着情報、クリエイティブコンテンツ、各環境分野の情報等が分かりやすく整理できるようカテゴリーを設計しておくこと。
- ・ウェブページの問い合わせ先について、CMS の仕様で設定できるようにすること。

② 技術要件

- ・稼働時間は 24 時間 365 日を原則とする。
- ・クライアントの OS およびブラウザは以下の製品で表示できること。

【PC】

[OS] : Microsoft Windows 10 以降、MacOS X 以降

[ブラウザ] : Microsoft Edge、safari、Google Chrome、Fire Fox

【スマートフォン】

[iPhone] : iOS18 以降の Safari, Google Chrome 最新版

[Android] : Google Chrome 最新版

- ・ユーザーインターフェースは GUI ベースのインターフェースとすること。

- ・サーバは、県デジタルトランスフォーメーション課の HP 統合基盤を利用すること。
- ・県がデジタルデータとして提供する各ページの文章及び画像等はウェブサイトに掲載するためにサイズ変更等の加工が必要である場合は適切に行うこと。
- ・コンテンツの検索機能またはソート機能を有すること。
- ・アクセス数の集計が容易にできるよう設定すること。

③セキュリティ要件

- ・受託者は、「群馬県情報セキュリティポリシー」を遵守し、成果品に潜在的セキュリティの脆弱性を生じることがないように、必要な対策を実施しなければならない。なお、想定される技術セキュリティ要件は別紙「環境パブリックリレーションズ推進事業業務に係る技術的セキュリティ要件」のとおりとする。また、保守期間中において脆弱性が発見された場合は早急に修正を行うこととする。
- ・ウェブサイトへのアクセスは常時 SSL 化すること。非 SSL でのアクセスは常時 SSL に転送すること。なお常時 SSL 化で必要となる証明書は群馬県で準備する。
- ・情報処理推進機構（IPA）の「安全なウェブサイトの作り方」に準拠すること。

④業務内容

■留意事項

ウェブサイトのデザイン・レイアウト・構成等の全ての過程において、密に県との打合せ等を行うものとし、作成過程で発生した不測の事態や軽微な変更等については、両者協議の上、随時行うものとする。

■ウェブページの作成

以下の要件に基づいて、ウェブサイトを作成すること。

- ・タイトル：ECO ぐんま
- ・タイトルのロゴデザインについて、目的が達成できるようなデザインを受託者が提案することとし、委託者と受託者が協議の上決定すること。
- ・メインビジュアル（アイキャッチ画像）は受託者が提案することとし、委託者と受託者が協議の上決定すること
- ・本ウェブページ公開後の新規ページの追加やコンテンツ追加に考慮した設計とし、拡張性の高いものとする。
- ・作成したウェブサイトのデータは県のホームページ統合基盤サーバに FTP にてアップロードすること。なお、統合基盤利用申請時に接続 IP アドレスが必要となるためグローバル IP アドレス等の情報を県に提供すること。
- ・プログラム言語等について、以下のような仕様にすること。

項目		内容	バージョン	詳細・備考
サーバー基本	サーバー容量	1TB(全体容量)		
	OS	Linux	—	ディストリビューション等は非公開
	ウェブサーバー	apache	2.4.x	SSL通信可、htaccess利用可
	データ転送量	無制限		
	グローバルIPアドレス	1個		
	バックアップ	イメージバックアップ		
	FTPアカウント	1アカウント		複数アカウントの割り当ても可
	FTPS	利用可能		
	SSL証明書	Let's Encrypt、 及び指定SSLのみ		基本はLet's Encrypt 有料のSSLを使用したい場合は別途ご相談ください
	WordPress	利用可能		インストール・設定は各自対応(移行ツールあり)
プログラム・DB	Perl	利用可能	5.16.x、5.26.x	
	PHP	利用可能	5.x、7.x、8.x	"pref.gunma.jp"サブドメインは7.4.x固定
	MySQL	利用可能	5.7.x	
	MariaDB	利用可能	10.5.x	
	httpd	apache	2.4.x	他にnginxも利用可能
	MTA	利用可能		詳細非公開
パス情報	Perl	/usr/bin/perl		
	ImageMagick	利用可能		詳細非公開
その他	DNS切り替え前の ウェブページ確認方法	利用可能	—	グローバルIPアドレスで確認
	レンタルサーバ業者	Xserver		専用サーバーマネージド専用エントリー

- ・②技術要件で示したターゲットブラウザの範囲内において、スマートフォン等の携帯端末で問題なく閲覧できるか検証するものとする。
- ・ウェブページの開発にあたっては、何れの事業者であっても運用開始後の機能追加、改修作業ができるように配慮し、他の事業者が作業を行う際に、著作権上の問題が生じるようなパッケージソフトなどを使用しないこと。

■ウェブサイトに係るサーバ

ウェブサイトを運用するためのサーバについては、県デジタルトランスフォーメーション課の HP 統合基盤のサーバを利用するものとする。

■ウェブサイトに係るドキュメント整備

本ウェブサイトの運用に必要な下記のドキュメント類の整備を行うこと。なお、ドキュメントの表記は全て日本語とする。

- ・各開発過程における進捗報告書
- ・Web サイト設計書
- ・サイトディレクトリ構成表
- ・運用(操作)マニュアル(運用管理者向け)

■ポータルサイトに係る検索エンジンへの対応(SEO 対策)

- ・検索エンジン Yahoo Japan および Google などにおいて検索されやすい仕組みを提案すること。
- ・検索キーワードの選定は、協議すること。

■データ移行

- ・本ウェブサイトの完成後、受託者は群馬県環境情報サイト E C O ぐんま (<https://www.pref.gunma.jp/site/eco/>) に掲載された情報を本ウェブサイトへ移行すること。その際、サイトディレクトリの構成等は協議の上、決定すること。

⑤成果品の納入方法

- ・検収：成果物の納入をもって検収する。
- ・納入期限：納入期限については、グリーンイノベーション推進課と協議し、スケジュール等の調整をすること。
- ・納入場所：群馬県知事戦略部グリーンイノベーション推進課
- ・成果品：作成データ：電子媒体一式

(2) コンテンツ制作業務

ネイチャーポジティブやサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル等をテーマに以下のコンテンツを作成すること。

- ・映像・テキストと写真
- ・インフォグラフィック

①映像・テキストと写真

県内において、ある分野で先駆けて活動してきた方の動機や経緯を深掘りし、テキストにする。

■取材対象：県で新しいことにチャレンジしている人・企業・団体

県内の自然のポテンシャルや変化状況

自然を背景にした文化・地域の活動 等

■実施回数：映像 1本

テキストと写真 5本

■訴求対象：環境分野への関心が顕在化していない人、これまでも環境分野への取組に関心をもってきたが、さらに県内での取り組みへの積極的参加が期待される人

■特記事項：受託者は以下の点に留意し、業務を行うこと。

- ・取材対象の選定は地域、分野等の属性的な偏りが生じないように配慮すること。
- ・テキスト制作にあたっては、以下の点に留意すること。
 - ＞毎回、取材対象の決定にあたっては、県との打合せを1回以上設けること。
 - ＞対象者への取材を1回以上行うこと。
 - ＞取材時等に写真撮影を行うこと。
 - ＞撮影した写真等をテキスト内に効果的に盛り込む記事にすること。
 - ＞テキストの最後等に、制作したライターを紹介及び編集後記等を設けること。
 - ＞制作を行うライターが偏らないよう配慮すること。
 - ＞ウェブサイトへの掲載ができるよう、体裁を整えること。
 - ＞業務の全ての過程において、県と密に協議及び県に対し報告すること。映像
- ・映像制作にあたっては、以下の点に留意すること。
 - ＞委託者における映像のクオリティチェックのため、公開予定日の1ヶ月以上前にコンテンツを納品すること。また、クオリティチェックで修正の必要が発生した場合は、速やかに修正したものを提供すること。

②インフォグラフィックデザイン

■内容：県で指定する環境白書等のデータをわかりやすく、興味を引くデザインコンテン

ツに仕上げる。対象データは県と事業者で十分協議の上決定する。

■作成数：2本

■訴求対象：環境分野への関心が顕在化していない人、これまでも環境分野への取組に関心をもってきたが、さらに県内での取り組みへの積極的参加が期待される人

③成果品の納入方法

イ) 検収

成果物の納入をもって検収する。

ロ) 納入期限

納入期限については、グリーンイノベーション推進課と協議し、調整をすること。

ハ) 納入場所

群馬県知事戦略部グリーンイノベーション推進課

ニ) 成果品

作成データ：電子媒体一式

4 実績報告書の提出

委託業務内容の終了後、直ちに実績報告書を提出する。

5 契約期間

契約の日から令和8年3月31日まで 又は 事業終了のいずれか早い日まで

6 スケジュール

令和7年5月以降 契約締結

令和7年9月 ホームページ構築・旧ホームページからコンテンツ移行

令和7年10月 新ホームページ公開

令和7年10月以降 テキストコンテンツを随時更新

7 秘密の保持

本委託事業の内容及び業務の遂行上知り得た事項は、委託者の承認を得ないで他に漏らし、又は、その他の目的に使用してはならない。

8 その他

- (1) 前条までの条件が満たされない場合、一部の事業費を対象の経費と認めず、減額する場合がある。
- (2) 契約は、選定された企画提案書と本仕様書の内容について、改めて委託者と受託予定者と細部を打合せのうえで締結する。
- (3) 感染症や自然災害等のやむを得ない理由により、委託業務の内容・実施時期を変更することがある。
- (4) 受託者は、成果物が他者の所有権や著作権、肖像権を侵害しないことを保証するものとする。
- (5) 本業務により作成された成果物の著作権（著作権法第21条から第28条に定める全ての権利を含む。）は、原則として発注者に帰属する。ただし、成果物の中に受注者が既に著

著作権を保有しているものが含まれる場合は、その著作権は、受注者に帰属する。この場合、受注者は、著作権を保有しているものの使用及び修正するために必要な範囲で、著作権法に基づく利用（複製権、翻案権などの著作物を利用する権利をいう。）を無償で発注者に許諾すること。

なお、発注者が事前に承諾した場合、受注者は制作実績の紹介として、自身の WEB サイト及び自社紹介資料等へ実績掲載することができる。

（６）本仕様書に定めのない事項については、委託者と受託者が協議して決定する。

【OS コマンド・インジェクション対策】

- ・シェルを起動できる言語機能の利用を避けること。
- ・シェルを起動できる言語機能を利用する場合は、その引数を構成するすべての変数に対してチェックを行い、予め許可された処理のみが実行されるようにすること。

【セッション管理対策】

- ・セッション管理情報については、推測が困難なものにすること。
- ・HTTPS 通信で利用する Cookie には secure 属性を加えること。
- ・セッション管理情報を固定値にしないこと。
- ・セッション管理情報を Cookie にセットする場合、有効期限の設定に注意すること。

【パス名パラメータの未チェック対策】

- ・外部からのパラメータにウェブサーバ内のファイル名を直接指定できる実装を避けること。
- ・ファイルを開く際は、固定のディレクトリを指定し、かつファイル名にディレクトリ名が含まれないようにすること。
- ・ウェブサーバ内のファイルへのアクセス権限の設定を正しく管理すること。
- ・ファイル名のチェックを行うこと。

【メールの第三者中継対策】

- ・外部からのパラメータをメールヘッダの内容に指定しないこと。
- ・外部からのパラメータをメールヘッダに指定する場合は、危険な文字を排除すること。

【WEB サーバ構築にあたっての留意事項】

- ・OS やソフトウェアのぜい弱性情報を入手し、ぜい弱性への対処を行うこと。
- ・不要なサービスやアカウントを停止または削除すること。
- ・公開を想定していないファイルを、ウェブ公開用のディレクトリ下に置かないこと。

【DNS 情報の設定】

- ・ドメイン名およびその DNS サーバの登録状況を調査し、必要に応じて対処を行うこと。
- ※ 技術的なセキュリティ要件については、上記のほか IPA「安全なウェブサイトの作り方」を参照すること。